

# 地域を創る自主防災活動 ～9集落の連携が命と地域を守る～



秋田県横手市 西成瀬地区自主防災連合会  
会長 季子 和春

## 1 はじめに

西成瀬地区は横手盆地の東南、栗駒山系を源とする成瀬川を挟んで9集落が点在する小さな山間の里で、秋田県の南部に位置しています。

現在の地区内人口は770人、世帯数は255戸、10年前に比べ2割減と急速な過疎化の進行が顕著な地域になっています。横手盆地特有の豪雪は毎年のように家屋の損傷をはじめ、ハウス倒壊、果樹への被害、除雪事故により尊い命が失われるなど雪による災害は甚大です。しかし、他の自然災害はこれまで比較的少ない地域であることから、安心感が先行し防災意識が薄れがちです。

秋田県内でも毎年豪雨による土砂災害や水害などが発生していますが、今年の夏は1時間に50ミリ以上の降水を観測した回数が9回にのぼり、観測統計を取り始めた1976年以降で最も多かったと言われていています。地球温暖化を背景にした豪雨は確実に増えており、8月に県北や県中央地域で相次いだ河川の氾濫はまさに他人ごとではありません。

## 2 自主防災組織の立ち上げ

9集落の後方には各々大きな山と大小の沢を背負っているため、土砂災害や水害が心配される地域であることから、平成27年に地区のリーダーを対象にした防災研修会を開催し、自主防災組織の立ち上げは地域

**西成瀬地区自主防災連合会**  
横手市、各種団体との連携

<p style="text-align: center;"><b>9集落自主防災会の主なる活動</b> (集落ごとの独自活動)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆研修会の開催                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・自主防災組織の具体的な活動は</li> <li>・地震だ！その時どうする？</li> <li>・恐ろしい土砂災害を知ろう</li> <li>・危険箇所点検と防災マップづくり</li> <li>・災害時における緊急連絡網の作成</li> </ul> </li> <li>◆防災訓練の実施                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・初期消火訓練 (消火器、バケツリレー)</li> <li>・地域消防団と連携した放水訓練</li> <li>・救命救急講習</li> </ul> </li> </ul> <p style="text-align: right;">…など</p>	<p style="text-align: center;"><b>西成瀬自主防災連合会の主なる活動</b> (連合会の全体活動)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・視察研修 (秋田県防災学習館ほか)</li> <li>・横手市防災マップによる危険箇所点検</li> <li>・横手市総合防災訓練への参加</li> <li>・横手市冬季防災訓練 (積雪時の対応)</li> <li>・避難所開放、避難誘導訓練</li> <li>・災害時炊き出し訓練</li> <li>・災害停電時に有効なガス発電機使用訓練 (ガス協会、陸上自衛隊応援)</li> <li>・防災クロスロード体験会</li> <li>・マイタイムライン講習会</li> <li>・気象予報士をお招きしての講演会 「秋田の気象災害と防災」</li> </ul> <p style="text-align: right;">…など</p>
---	---

※平成29年度コミュニティ助成事業によりヘルメット、ジャンパー、投光器、発電機、ガソリン携行缶等の備品導入

図 各種訓練及び実施事業

防災力向上への大切な一歩であることを確認し、これを各集落に持ち帰り住民との話し合いを重ねた結果、翌平成28年4月に9集落一斉に自主防災会を結成する運びになりました。同時に各防災会が連携を密にし、地域一体の防災活動を推進するために連合会を結成しました。

自らの安全を自らが守る「自助」と地域住民が互いに助け合う「共助」の重要度が高まった時でもありました。

## 3 各種訓練及び実施事業

今まで実施してきた主な訓練や事業の一部をご紹介します。

まず9集落それぞれの自主防災会では、DVDを使用した研修会や集落内の危険箇所の点検、バケツリレーや実物の消火器を使用した初期消火訓練、救命救急講習など、独自での訓練や研修を行ってきました。集落、つまり「ご近所さん」という身近な範囲で活動することにより、平時から



防災クロスロード研修



避難所開設訓練



消火訓練



気象予報士による講演会



炊き出し訓練



防災機器取り扱い講習

住民同士のコミュニティ強化を図る機会にもなっています。

続いて、9集落をまとめた西成瀬地区自主防災連合会としての活動としては、防災施設への視察研修、専門家を講師に招いての講習会（防災マップづくり、防災クロスロード、マイタイムライン作成、気象予報士による講演など）や、避難所開設訓練、避難誘導訓練、炊き出し訓練などを実施してきました。こちらは、市や各種団体とも連携し、より専門的かつ実践的な活動を展開しています。

#### 4 終わりに

自然災害からかけがえのない命と財産を守るためには各々が防災意識を高めると共に、地域が協力し合う自主防災会の活動に磨きをかけることが大切です。

引き続き、「地域住民の命は地域で守る」をスローガンとして9集落の連携を図り地域防災に取り組んで参ります。